

農地中間管理事業の推進に関する法律（平成 25 年法律第 101 号）第 26 条第 1 項に基づき農業者等の協議が行われたので、同項の規定により下記のとおり公表する。

令和 2 年 3 月 3 日

下呂市長 服部 秀洋

記

1. 協議の場を設けた区域の範囲

竹原地区

（御厩野上組、岩野、大畑、小田畑、見座、西田、野尻第一、野尻第二、下島、向上、小野、泉、栃村、中組、宮前、川下、宮地上組、乗政第一、乗政第二、西村、共栄、三ツ石）

2. 協議の結果を取りまとめた年月日

令和 2 年 3 月 3 日

3. 当該区域における今後の地域の中心となる経営体（担い手）の状況

2 3 経営体数

法 人 経営体数	7
個 人 経営体数	1 6
集落営農（任意組織）	0

4. 対象地区の課題

別添のとおり

5. 対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針

別添のとおり

6. 5 の方針を実現させるために必要取り組みに関する方針（地域農業の将来のあり方）

別添のとおり

人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
下呂市	旧下呂町竹原 (御 野、野尻、宮地、乗政)	R2.3.3	H31.3.3

1.対象地区の現状

人・農地プランの対象農地の面積		147.0ha			
意向把握方法	農地台帳(権利設定済農地)	51.1ha	35%		
	アンケート	回答あり	75.9ha	実施率 64%	回答率 81%
		回答なし	18.1ha		
	アンケート未実施	1.8ha	1%		
①担い手が耕作する農地面積		49.9ha	34%	63%	
②(非担い手の)中心経営体が耕作する農地面積		1.1ha	1%		
③貸出希望の農地面積		41.9ha	29%		
④「耕作者年齢59歳以下」又は「後継者あり」農地面積		25.3ha	17%		
⑤「耕作者年齢60歳以上後継者なし」農地面積		3.3ha	2%		
⑥「耕作者年齢70歳以上後継者なし」農地面積		1.6ha	1%		
⑦「耕作者年齢80歳以上後継者なし」農地面積		1.4ha	1%		
⑧「転用したい」又は「耕作しない(できない)」農地面積		2.1ha	1%		
⑨意向が確認できていない農地面積		19.9ha	14%		

2.対象地区の課題

- ・当該地域には担い手となる中心経営体がいるが、まだ十分に確保されていない。
- ・プラン対象農地を遊休化させないことが重要。
- ・畦畔の維持管理について、多面的機能支払交付金、中山間地域直接支払制度等を活用し、農地所有者の協力体制を構築する。
- ・営農者が高齢化し、後継者もない。(後継者がいたとしても多忙である。)
- ・耕地面積が小さく、集落営農組織・法人などの引き受け手がいない。(宮地)
- ・未整備な地域では大型機械が使用できないため、現在使用している農業機械が使用できなくなった場合は遊休農地化する恐れがある。

3.対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針

- ・農地の出し手は、原則として農地中間管理機構を活用する。
- ・耕作地の大区画化を促進する。

4.3の方針を実現させるために必要な取り組みに関する方針

- ・多面的機能支払交付金及び、中山間直接支払制度に関わる組織、農事改良組合長会等の地域における十分な話し合いのもと、既存の中心経営体に加え、集落営農組織や新規就農者、企業参入等多様な担い手の育成に努め、持続可能な地域(農業)づくりを目指す。
- ・農業の効率・省力化を促進するために、大区画化が可能な個所の基盤整備(圃場整備)を行う。

5.地区内の中心経営体

属性	経営体(氏名)	年齢	構成員(従業員)	後継者	経営規模			農業を営む範囲
					経営内容(作目)	経営面積 ^a	頭数(ほか)	
竹原-1 認農法	(資)大黒屋農園(曾我 純次)	70	2(19)	○	トマト、菌床椎茸、アスパラ、水稻	729		竹原全域
竹原-2 認農法	(資)源丸屋ファーム(曾我 康弘)	61	3(1)	○	水稻	1151		竹原全域
竹原-3 認農	梅田 元雄	70	2	-	肉用牛、水稻	71	32頭	野尻
竹原-4 認農	松田 雄三	43	4	-	トマト	40		野尻
竹原-5 認農	井上 敬人	57	4	-	こんにゃく芋、水稻	172		野尻
竹原-6 認農	小越 利信	64	2	○	露地野菜、施設野菜	146		野尻
竹原-7 認農	今井 桂治	65	6	-	トマト、露地野菜	116		野尻
竹原-8 認就	牧野 達雄	44	1	-	トマト	83		野尻
竹原-9 -	中島 隆幸	49	4	-	トマト、菌床椎茸	119		乗政
竹原-10 認農	中安 英一	66	1	-	トマト	30		乗政
竹原-11 認農	片岡 豊一	70	2	○	水稻、トマト、アスパラ	990		乗政
竹原-12 認農法	下呂菌床合同会社(曾我 純次)	70	2	○	菌床製造	0	250,000B	乗政
竹原-13 認就	河村 力	33	1	-	トマト	90		乗政
竹原-14 認農	田上 健	57	3	-	果樹、露地野菜	218		乗政、夏焼
竹原-15 認農	河村 重樹	63	4	-	トマト、菌床椎茸、こんにゃく芋	120		御厩野
竹原-16 認農	河村 建樹	61	2	-	肉用牛	60	105頭	御厩野
竹原-17 認農	中島 辰男	55	2	-	肉用牛	34	138頭	御厩野
竹原-18 認農法	(有)下呂特産加工(北野 弘)	78	5(15)	○	複合経営(こんにゃく)	21		御厩野
竹原-19 認農	朽本 達治	39	3	-	トマト、菌床椎茸	84		御厩野
竹原-20 認農	古田 忠司	61	4	-	トマト、水稻	154		御厩野
竹原-21 法	特定非営利法人かがやき(田口 純子)	70	7(13)	-	施設野菜、露地野菜	89		御厩野
竹原-22 認農法	(株)東海環境ディベロップ(松下 哲也)	40	3(11)	-	施設野菜、露地野菜	393		御厩野、野尻
竹原-23 認農法	(有)飛騨舞茸(進藤 勝広)	64	9	○	舞茸	49	600,000本	宮地

【記載上の注意】

※ 「属性」には、認定農業者は「認農」、法人は「法」、集落営農は「集」、認定新規就農者は「認就」と記載します。
 ※ 「経営体(氏名)」には、法人経営、集落営農など組織経営体の場合は、その組織経営体の名称を記載し、括弧書きで組織経営体の代表者名を記載します。

6.貸出希望の農地の筆数および面積

m²

地区名	田		畑		計
	筆数	面積	筆数	面積	面積
御厩野	115	98,165	99	39,247	137,412
野尻	66	70,285	54	31,228	101,513
宮地	73	51,553	59	22,101	73,654
乗政	85	87,203	40	19,791	106,994
合計	339	307,207	252	112,367	419,573